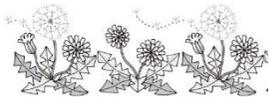


ほけんだより



3年生特別版

3月2日(木)、講師に医師の岩室紳也先生をお招きし、「思春期の性と生」というテーマで健康教育を行いました。

まずは、HIV 感染に関して、新型コロナウイルス感染症対策を例に挙げながら、ウイルスはどこからどこへ、どうやって移動するのか、よく考えて対策をすることの大切さを、具体的な対策方法を交えて話してくださいました。

また、エイズやLGBTQ への誤解について、最初に病院で出会ったエイズの患者さん、ゲイの友人などを例に挙げて、わかりやすく話してくださいました。



先生のネクタイ、カラフルですが、実は・・・感染症対策への熱意が、伝わってきます。生徒は、「そのネクタイはどこに売ってるのですか？」と興味津々です。

次に、男女の性のこと、それを踏まえて、相手を大切にする方法等について、ご自身の経験も織り交ぜながら、医師の立場で多くのことをお話していただきました。



生徒に質問をして、返答がなかなかこない時には、「間違えるとすぐ覚える。間違っていないから答えてごらん。」と優しく声かけをしてくださいました。和やかに講話が進んでいきました。

時には教員にも質問がありました。

「性的同意って知ってる？付き合っているけど、夫婦であっても、強要したら犯罪になることがあるんだよ。」

「愛」の反対は「無関心」。あなたが「嫌だ」と言っているのに、相手が「愛しているから」と、しつこく誘ってきたら、その人は、あなたの体に興味があるだけで、心には「無関心」だということだよ。」



令和5年3月7日 愛川町立愛川中学校 保健室

終わりに、「自立」とは依存先(頼ることのできる相手)を増やすことが大切だということ、お互い様の関係でいられる友達を作るようにしてほしいということをお話され、生徒たちは、真剣にメッセージを受け取っていました。



中学校を卒業して新しい生活を送る3年生にとっても大切なお話でした。



生徒の感想一部紹介



・1つ1つの感染症の怖さやどうやったら防ぐことができるのかを、細かいところまで教えてくださり、わかりやすかったです。実体験の話を知ると、人ごとに思えませんでした。

・性についての考え方が変わり、性について学ぶことや自分から知ることがとても大切なことだと思うようになりました。

・自立するためには、依存をしていく必要があり、友達というものは、お互い様であることが良いと思ったので、これからは、友達との関係を調整し、よりよい環境を整え、健康で自立できるような生活をしていきたいと思いました。

・保健の授業でもわからなかったことを知ることができて良かったです。自分の体調や病気を気にすることも大事だけど、相手の気持ちや体調を気遣うことも大事だなと思った。

・性の話をする機会がないし、日本ではNGな話題のように思っているけど、やはり避けては通れないお話だと思いました。基本的な知識を知っているだけで、病気にかかる確率が大きく変わると思ったので、しっかり忘れず生きていきたいなと思いました。